

「成形加工」投稿規定

1. 原稿の内容

- 1.1 内容：原稿は、プラスチック、エラストマー、複合材料等の成形加工に関連した内容を有するものとする。
- 1.2 使用言語：日本語または英語とする。
- 1.3 原稿の種類：「論文」等、「解説」等、「技術報告」等、その他、のいずれかに分類される。
- 1.3.1 「論文」等：著者の研究成果あるいは特定の主題の研究成果をまとめたもの。
- (1) 「論文」：以下に例示される内容を持つ著者の未投稿の研究成果について報告した原稿で、工業上または学問上の価値ある結論を含むと認められるもの（ただし所属機関の刊行物、講演論文集等に投稿した小報告を補充・完成後投稿したものも差し支えない）。
- (a) 新技術の開発、あるいは新理論の提唱
- (b) 新現象の発見・解明または新たな考察
- (c) 従来技術・理論の新しい応用・展開
- (2) 「レター」：論文に準ずる内容の研究成果について報告した原稿で、断片的な研究でも、工業上または学問上の価値ある事実あるいはデータを含むと認められるもの。
- (3) 「総説」：特定の分野や主題に関して、研究を体系的かつ普遍的に総括、解説したもの。
- 1.3.2 「解説」等：主として教育的・啓発的な内容を含むもの。
- (1) 「解説」 研究・開発の成果や動向、展望の他、用語、規格等について啓発的に理解しやすく解説したもの。
- (2) 「講座」 入門事項から先端分野までの普遍的・基礎知識を読者に与えるような教科書的内容をもつもの。
- (3) 「連載」 啓発的な内容を含む特定のテーマを読者にわかりやすく連載により解説したもの。
- (4) 「巻頭言」 時評あるいは特集号・記念号の内容に沿った総合的・大局的な視点からの論評。
- 1.3.3 「技術報告」等：主として会員間の交流・情報交換等の内容を含むもの。
- (1) 「技術報告」 新技術の開発経緯、技術内容などを紹介するもの。
- (2) 「製品・技術紹介」 原則として賛助会員企業の開発した装置・機械・材料等に関し、その製品または技術を資料・図表・写真等により紹介するもの。
- (3) 「会議・見本市だより」 成形加工に関わりの深い国内・海外で開催された会議・見本市について報告するもの。
- (4) 「日本の大学・試験・研究機関の研究」 日本の大学・公設機関、あるいはその中の特定グループについて、組織・研究内容・設備・人員等を紹介するもの。
- (5) 「海外だより」 海外のプラスチック情勢や成形加工研究の動向や、海外の研究機関あるいはその中の

特定グループの組織・研究内容・設備・人員等を紹介するもの。

- (6) 「知りたい・見たい・訪ねたい成形加工の元気な仲間」 本誌編集委員が賛助会員、または正会員の所属する企業に訪問して、組織・研究開発内容・製品を広く紹介するもの。

1.4 その他：

- (1) 「ファウンテン・フロー」 会員の意見を紹介するもの。
- (2) 「抄録」 本学会誌以外の出版物に掲載された記事のうち、重要なものあるいは入手困難なものについて、抄録、抄訳を行うもの。
- (3) 「学位取得者の紹介」 本学会に関連する内容で学位を取得した人および学位論文の概要を紹介するもの。
- (4) 本誌編集委員会が適当と認めたもの。

2. 投稿資格

- 2.1 「論文」等の投稿者は、正会員に限る。ただし、学会が適当と認めた場合は、この限りではない。また、共著者に会員以外の者を含むことは差し支えない。
- 2.2 「製品・技術紹介」の投稿資格は原則として賛助会員企業に属するものに限る。
- 2.3 「解説」等の執筆は、本誌編集委員会からの依頼によるものとする。
- 2.4 「技術報告」、「会議・見本市だより」、「日本の大学・試験・研究機関の研究」、「海外だより」、「ファウンテン・フロー」、「学位取得者の紹介」の投稿資格は、本学会会員（正会員、学生会員、賛助会員、名誉会員）に限る。ただし、本誌編集委員会からの依頼による執筆の場合はこの限りではない。
- 2.5 「知りたい・見たい・訪ねたい成形加工の元気な仲間」、「抄録」は、原則として本誌編集委員が分担して執筆するものとする。

3. 原稿の書き方

- 3.1 原稿は本誌「投稿規定」および「執筆要項」に従って執筆する。
- 3.2 原稿（図表等を含む）の長さ：原則として以下に示す規定刷上がりページ数以内とする。

論文	： 5 ページ	レター	： 2 ページ
総説	： 7 ページ	解説	： 4 ページ
講座	： 4 ページ	連載	： 2 ページ
巻頭言	： 1 ページ	技術報告	： 3 ページ
製品・技術紹介	： 1 ページ		
会議・見本市だより	： 2 ページ		
日本の大学・試験研究機関の研究	： 2 ページ		
海外だより	： 2 ページ		
知りたい・見たい・訪ねたい成形加工の元気な仲間	： 2 ページ		
ファウンテン・フロー	： 1/2 ページ		
学位取得者の紹介	： 1/2 ページ		

4. 原稿の提出

4.1 「論文」等の原稿の提出

- (1) 原稿表紙も含め、副原稿3通を本学会に提出し、正原稿は著者が掲載決定まで保管する。ただし、提出写真は鮮明なものを添付する。なお、原稿表紙に記入された連絡先のうち、郵便番号、住所、所属、氏名は原則として論文誌面に掲載する。
- (2) 本誌または他誌に既発表あるいは投稿中の部分がある場合には、その別刷または複写を同時に提出する。
- (3) 連続論文の場合には、それまでの論文の別刷または複写を同時に提出する。
- (4) 封筒には「原稿在中」と朱書きし、簡易書留で下記あてに郵送する。

〒141-0032 東京都品川区大崎 5-8-5

グリーンプラザ五反田第2-205

一般社団法人プラスチック成形加工学会
「成形加工」編集委員会

4.2 「解説」等、「技術報告」等の原稿の提出

- (1) 正原稿1通を提出する。
- (2) 電子ファイルをe-mailの添付で下記メールアドレスに送付するか、封筒に「原稿在中」と朱書きし簡易書留で下記あてに郵送する。

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-17

明産西新橋ビル6階

ニッセイエプロ株式会社

プロモーション事業部

(「成形加工」事務局代行)

e-mail: eblo_h1@eblo.co.jp

- ### 4.3 掲載済みの原稿は原則として返却しない。返送を特に希望する場合は、その旨を原稿提出時に投稿表紙に記入し、かつ切手を添付した返信用封筒を同封する。

5. 校閲・審査

- ### 5.1 原稿受付日：投稿原稿が本学会または本誌編集委員会に到着した日を原稿受付日とする。ただし原稿の書き方が規定にしたがっていないときは受けられない。

- ### 5.2 本誌編集人は本学会誌の全編集に関して責任を負う。編集人は本誌編集委員会委員長が兼務し、本誌編集委員会の機能をもってその業務を遂行する。

5.3 「論文」等の校閲・審査

- (1) 本誌論文編集委員会により校閲・審査を行うものとする。その際、内容の照会を行うほか、訂正、短縮、あるいは加筆を求めることがある。この場合、著者は1か月以内に修正論文の複写2部および審査意見に対して取った措置や著者の意見を記した説明書を本学会に提出する。ただし、考慮すべき理由がある場合には、提出期限を最大1か月延長することができる。
- (2) 修正あるいは意見の提出が上記の提出期限を経過して行われた場合には、原則として新規な投稿として取り扱う。

- (3) 論文内容に重要な変更を行った場合には、当該論文を取り下げ、新規な投稿と見なす場合がある。

5.4 「解説」等、「技術報告」等の校閲・審査

本誌編集委員会によって原稿の様式、内容の校閲・審査を行う。その際、依頼原稿であっても内容の修正や書き直し等を求める場合がある。

6. 著者校正

- ### 6.1 著者校正は1回行う。この際印刷上の誤り以外の字句の訂正あるいは原稿にない字句の挿入は原則として認められない。

- ### 6.2 著者は校正刷を受け取った後5日以内に著者校正した校正刷を返送しなければならない。この期限に遅れた場合には著者校正による訂正が行われないことがある。

7. 正誤および訂正

- ### 7.1 印刷上の誤りに対する正誤表は著者の申し出があった場合に掲載する。

- ### 7.2 印刷上の誤り以外の訂正、追加などは著者の申し出があり、かつ本誌編集委員会が認めた場合に限り掲載する。

- ### 7.3 正誤および訂正の申し出は掲載誌発行日から1か月以内とする。

8. 掲載料と別刷

8.1 「論文」等の掲載料

- (1) 掲載料は無料とする。ただし、別刷を最低50部以上、または電子ファイル(PDF)を購入することとする。別刷の場合は、ページ数、部数に応じてカラー・モノクロによらず下表の料金を、電子ファイルの場合は、ページ数に応じて下表中の別刷50部相当の料金を支払うものとする。また、双方を購入する場合は、別刷料金に1万円を加えた金額を料金とする。

	3 ページ 以 内	4 ページ	5 ページ
50 部	30,000 円	40,000 円	50,000 円
50 部毎の加算料金	3,000 円	4,000 円	5,000 円
	6 ページ 以 上		
50 部	1 ページ増毎に20,000 円加算		
50 部毎の加算料金	1 ページ増毎に 2,000 円加算		

- (2) 別刷または電子ファイルの申込みは、所定の申込用紙に希望部数を明示して行う。著者校正時以降の申込みには応じられない。

8.2 「解説」等、「技術報告」等の掲載料、原稿料

- (1) 掲載料は原則として無料とする。
- (2) 本誌規定の原稿料を本学会より支払う。ただし「製品・技術紹介」の原稿料は支払わない。
- (3) 刷上り1ページ以上の記事は、希望により掲載誌1冊を著者に贈呈する。

(4) 別刷を希望する場合には50部以上として実費を支払うものとする。

(5) 「解説」以外に多色刷りの図表を使用する場合には、下表のカラーページ料金を別途申し受ける。

カラーページ料金			
1ページ	2ページ	3ページ	4ページ
56,000円	90,000円	108,000円	108,000円
5ページ	6ページ	7ページ	8ページ
154,000円	154,000円	154,000円	154,000円

(6) カラーページの申込は、所定の原稿表紙に明示して行う。著者校正時以降の申込には応じられない。

9. 内容の責任

9.1 掲載原稿の内容の責任は著者にあるものとする。

9.2 他の著作物から引用する場合、著者の責任において原著者および発行者の許可を取得する。

10. 著作権と転載

10.1 著作権は本学会が所有するものとする。他誌からの翻訳転載の申込みに対して本学会は著者と協議せずに許可することがある。(平成29年1月改正)